

所在地：夷隅郡大多喜町大多喜1 2

施主：大多喜町

設計：(株)榎本建築設計事務所

施工：(株)屋代工務店 式田建設工業(株)

景観に配慮した一般建築物

大多喜町立大多喜小学校



4

城下町大多喜町立の小学校。オープンスクール方式を採用して新しい教育方式と環境のあり方を提案している斬新な作品。

プランは2棟の平屋建ての低学年クラスと特殊学級クラスをつつむように多目的ホールを中心としたL字型の校舎が並ぶ。校庭に入ってゆくと四つのトンガリ屋根の平屋の校舎の先に、町の伝統を思わせる2階建ての校舎が展開し、その先に丘の上の大多喜城が視界に入り、リズムミクなパノラマを造り出している。

各クラスを繋ぐワークスペースは多様な学習活動とコミュニケーションを可能にしている。タタミコーナーを設けたクラスターは、先生に叱られもせず寝転がって本を読める、子供の視点からの快適性を感じる。

コンクリートの近代性と伝統的な木質の組み合わせが巧みに演出されている。屋外教室としてのスペースは各棟に連続性を持たせ、自然環境を日常生活の場に取り入れるのに有効であった。

子供達が嬉々として先生と共に廊下の掃除をしている姿に接し、教育とその環境のあり方の転換を実感した。「町と共に満足している。こんなに愉快で楽しい通勤をしたことがない」と言われた新しい校長先生の



撮影：教育と施設

言葉は実感として受け取れた。町の要望に応えた設計者と、面積や予算面での葛藤があったにも拘らずこの計画を受け入れた町に敬意を表したい。

(島貫俊秀)